

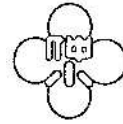
平成 28 年度

NO. 8

10 月 31 日発行

11 月号

仲町だより



なかよく
まなぼう
ちからいっぱい
練馬区立仲町小学校

大きな実り

校長 矢島 直行

秋も深まり、読書やスポーツに最適な季節となりました。実りの秋でもあります。

先日、子供たちが校庭の樹木を観察していました。春と比べて、葉の色や実をつけていることの違いを感じていました。植物は春から夏にかけ暑い日や雨、風の強い日もありますが生長し、秋に大きな実をつくり恵みをもたらします。自然の力の大きさを感じるとともに自然の力に感謝です。

また、秋は、「実りの秋」の他にも、「スポーツの秋」「読書の秋」「芸術の秋」「食欲の秋」等の言い方があります。私たちが活動するのに最適な季節であることが分かります。このように何事にも落ち着いて取り組むのにふさわしい季節のもと、さらに充実した学校生活になるように取り組んでいきたいです。

学校では先日、運動会が行われましたが、そこでも、「大きな実り」を感じることができました。「6年生は、学校の顔」と言われるように、演技をはじめ、運動会の係活動など、6年生の姿が下級生の良いお手本となりました。また、本校の伝統であるマーチングバンドでは、6年生の素晴らしい力を見ることができました。よい伝統を引き継いでいくことが学校力を高めていくことにつながります。6年生の姿を見て下級生が仲町小の伝統を引き継いでいくように、上級生が下級生を育てていきます。

また、5年生の下田移動教室でも、「大きな実り」を見ることができました。子供たちは、約束を守り、友達と協力しながら生活することができました。特に素晴らしかったことは、下田の水族館での出来事です。アザラシのショーを見ようと早くから席に座っていた子供たちが、後から来た幼稚園児が見やすいように席を譲ってあげたことです。班行動でしたから、そこには教員がいませんでした。子供たち自らの考えで行動することができたのです。このことは幼稚園の先生が教えてくれました。何と優しい子供たちでしょうか。これはすぐに身に付くことではありません。家庭や学校での今までの積み重ねが必要です。子供たちは、学校だけでなく家庭・地域の皆様によって、いろいろな場面で子供たちは支えられ、育まれています。

さて、11月18日(金)、19日(土)には、舞台発表会が開催されます。子供たちは日頃の学習の成果を発揮します。発表会は、一人だけでは力を発揮することができません。学年の力が一つになれば、素晴らしい発表をすることができます。各学年がどのような発表をするかを楽しみにしています。保護者と地域の皆様にも子供たちの活躍する姿をご覧いただき、ご声援をいただけましたら子供たちにとって励みとなります。

子供たちも新学年となった春から夏、秋にかけていろいろな行事を経験して、身体だけでなく心も大きく成長しました。子供たちの姿にも実りの秋を見ることが出来ます。しかし植物と異なることは、子供たちにとっては、この秋がゴールではないことです。これからも引き続き経験を積み重ね、さらに成長し続けることです。

今後もしばしばいろいろな行事がありますが、一つ一つの行事を通して子供たちに達成感を味わわせ大きな成長につなげ、子供たち一人一人が「大きな実り」となるようにしたいです。

保護者、地域の皆様のご協力をお願いいたします。